

全般的な注意点

1. 全般的な注意点

①出席情報を収集できない科目および出席情報システムを使用しない科目について

実験・実習（一部の科目は除く）、野外、体育館で行われる授業、卒業研究などの科目、および出席情報を収集しない科目の出席状況は「ハイフン」(-) で表示されています。学生の出席状況は各担当教員が把握されています。

②自身の出席状況について

- 当日の出席状況については、授業中もしくは授業終了時に確認し出席状況が正しく反映されているかの確認してください。 **※リアルタイムに反映されません。**

例 1) 授業開始時に出席情報の送信を行った場合

→授業開始 21 分後以降に確認できます。(出席判定が授業開始 20 分後に行われるため)

例 2) 授業開始 21 分後以降に出席情報の送信を行った場合

→出席情報の送信後 10 分以降に確認できます。

注) 授業中にスマートフォン等の使用を認めていない授業もあります。出席状況を確認する際は教員の許可を得るなど、注意してください。

- 前日までの出席状況を科目ごとで確認する場合は、教務システム(履修・シラバス)より確認してください。
- 本システムの出席判定は、あくまでもシステム上の判定であり、出席・遅刻・欠席の判断基準は各担当教員によって異なることがあります。また、出席情報の送信とは別に、口頭にて確認、課題提出などにより出席確認が行われる授業があります。

例 1) 授業開始時に着席していないと「欠席」と判断される場合

例 2) 授業開始 10 分以降は「欠席」と判断される場合

例 3) 出席情報の送信と毎授業の小テストで「出席」とする場合 など

上記の例 1~3 のように、システム上「出席」と判定されている場合でも、科目によっては「欠席」と判断されることがあります。

③システム上「欠席」判定になる場合について

- 出席情報の送信を忘れた場合
- 出席判定時間以降(授業開始 31 分~) に送信を行った場合
- 間違えた教室で送信を行った場合

※出席情報の送信を行ったにも関わらず欠席の場合は、打刻データを確認いたしますので教務課の出席情報システム担当者まで問い合わせください

④出席情報の修正について

出席状況の修正の申し出には以下の事項を遵守して下さい。

- スマホの故障・修理中の場合は、授業開始前までに授業担当教員へ相談してください。
- 出席情報の送信忘れの場合は、当日の授業終了時に授業担当教員へ申し出てください。
- 教室の誤送信の可能性がある場合は、教務課で打刻データを確認してもらってください。
- Beacon の電波を受信できない場合は、教務課へ相談してください。
- 翌日以降の申し出（教室の誤送信以外）には、原則教務課や授業担当教員は対応しません。

⑤未履修の出席について

履修確定前に間違えた教室で出席情報の送信を行った場合、その教室で授業が開講されていると「未履修の出席」と表示されます。授業が開講されていない場合は「未履修の出席」にはなりません。

履修確定日以降に教室間違えで送信した場合は表示されませんが、履修確定前の情報は表示されます。

⑥その他

- 履修修正を行った情報は、翌日にシステムに反映されます。
- 定期試験期間中の試験時間割は、通常の授業時間と異なるため出席情報の送信を行う必要はありません。ただし、定期試験期間中に補講がある場合は、通常通り出席情報の送信を行ってください。
- 本システムと Web Class は連携されていないため、Web Class 上の出席状況とは関係ありません。

⑦重要

- 出席情報の送信のみ行い、授業に出席しないなどの「不正送信」は絶対に行わないでください。
- 自動判定された情報がそのまま単位修得に係る成績評価に利用されることはありません。